

平成29年度ホタテガイ採苗通報(第2報)

平成29年4月20日



宮城県

気仙沼水産試験場 TEL:0226-41-0652 FAX:0226-41-0743
 E-mail:kssuisan@pref.miyagi.jp
 HP:http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/
 Facebook:https://www.facebook.com/kesuishi
 気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL:0226-22-6852
 水産技術総合センター TEL:0225-24-0138
 県漁協各支部青年部・研究会

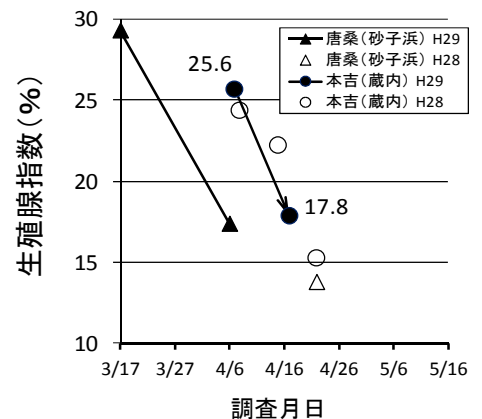
- ・ 小型～中型の浮遊幼生が確認されていますが、ごくわずかであり、大型幼生も確認されていないことから、まだ採苗袋の投入時期ではありません。
- ・ ホタテガイ母貝の産卵は進んでいると思われ、今後、浮遊幼生も増加していくと思われれます。

《調査結果の概要》 調査日:4月17日

- ・ 調査地点の表層水温は9.9～11.2℃、10m水温は8.1～8.5℃でした。なお、昨年同時期の表層水温は9.8～10.2℃、10m水温は9.0～9.2℃でしたので昨年より10m水温で1℃ほど低くなっています。
- ・ 気仙沼湾口部の岩井崎、大島の大前見と唐島で浮遊幼生調査を実施したところ、小型～中型浮遊幼生がわずかに確認されました。
- ・ ムラサキイガイ(シウリガイ)幼生も、わずかに確認されました。
- ・ ホタテガイ母貝の生殖腺指数は、本吉(蔵内)では25.6%(4/10)から17.8%(4/17)と低下しており、同地区でも産卵が始まっていると思われれます。

表 浮遊幼生調査結果

調査点 (調査月日)	水温(℃) 表層/10m	採取方法 (プランクトンネット)	ホタテガイ浮遊幼生数 個体/m ³		その他 (ムラサキイガイ等) 幼生数 個体/m ³
			250ミクロン未満 (小型～中型)	250ミクロン以上 (大型)	
岩井崎 4/17	11.2/8.5	10m曳	2	0	9
大前見(大島) 4/17	9.9/8.2	10m曳	0	0	3
唐島(大島) 4/17	10.3/8.1	10m曳	1	0	10



- ・ 今回(4/17)確認された浮遊幼生は小型～中型でした。

図 生殖腺指数の推移

県外情報

青森県(4/20)

- ・ 陸奥湾における浮遊幼生の出現数は西湾、東湾とも過去10年の同時期の平均値よりもかなり多い状況。
- ・ 西湾では採苗器の投入継続を、東湾では投入開始を呼びかけ。

岩手県(4/17)

- ・ 小型幼生、大型幼生が出現しているが、少数であり、採苗器の投入時期には至っていない。

次回の通報発行は4月27日頃の予定です。